

□議員名：矢田松夫

1 市長の政治姿勢について

論点	市長は定例記者会見をなぜしないのか。
回答	市長の定例記者会見はないが、市長自らの言葉でお伝えしたい考え方や重要事案については、議会の場や最適なタイミングや手法を柔軟に選択し情報の発信をしていく。

論点	協創のパートナーである市民との直接対話について計画はあるか。
回答	平成30年には基本計画の概要について説明会を開催した。それ以降はコロナ禍で開催できなかった。協創をさらに進化させていくため市と市民の建設的な意見交換の場を設ける予定である。

2 令和8年度施政方針について

論点	食料品の消費税が2年間ゼロとなることに市税に影響があるか。
回答	仮に食料品の消費税が廃止された場合、結果的に本市の実質的な減収額は2,800万円程度になる。

論点	財政調整基金を取り崩し、繰入した予算編成となっている。本来の財政健全化に資するべきではないか。
回答	財政を取り巻く環境が厳しさを増す中で、必要な行政サービス水準を維持していくため、基金からの繰入れを計上せざるを得ない。

論点	オートからの収益1億円を一般財源に繰入れをするよりも、8億円の借金に充てるべきではないか。
回答	公営ギャンブルで得た利益を一般会計に入れてまちづくりをすることは法的には問題はない。借金返済の将来を見越した返済計画はない。

論点	オートからの繰入れは単年度限りなのか、それとも永続的にこの事業を実施するために繰入れをされるのか。
回答	貴重な財源と考え、今後も毎年度の事業収支や社会情勢を総合的に

	勘案し、繰入れの是非や規模について適切に判断していく。
--	-----------------------------

論点	児童クラブ事業費が約1億円増額となっているが、支援員の労働条件改善や利用定員40人以下による要員確保の増額か。
回答	増額は、支援員の雇用確保や児童クラブの安定的な運営、安心して子供を預けられる環境づくりに有効的であり、児童クラブの充実につながる。

論点	市内全児童クラブの運営会社がシダックスに変更されたが、遅滞なく4月1日から運行ができるのか。
回答	支援員の確保については、適切に準備しているので業務運営は支障なく実施できるものと考えている。

論点	美祢線復興復旧のためのBRT専用道路について、市長の基本的なスタンスについて問う。
回答	美祢線BRT整備については、自治体の投資という側面もあり、内容が投資に見合う価値を有しているかは慎重に見極めていく。費用対効果が低いと判断している。

論点	美祢線湯ノ峠駅に立ち寄ることは、速達性が失われると思うが、この湯ノ峠駅についての代替案があるのか。
回答	湯ノ峠駅付近の新たなバス停設置など、快速便ルートであることを踏まえ、速達性といった観点も含め慎重に検討をしていく。